



2021-2022  
国際ロータリーのテーマ

# 高萩ロータリークラブ

TAKAHAGI  
ROTARY CLUB  
WEEKLY

国際ロータリー第2820地区  
1970年10月30日設

発行  
2021.11.3  
第52巻  
第13号  
通巻  
2434号

ロータリー月間 地域社会の経済発展・米山 来月：ロータリー財団 月間

10月27日例会より

## 『卓話 農園と食卓をつなぐ水耕栽培』

### 株式会社 愛テックファーム

代表取締役社長 中野光雄 様を迎えて



10月は、「地域社会の経済発展」を全世界で推進するロータリーの特別月間であり、当クラブは、かねてより、斜陽化する石炭産業都市「高萩」の再生発展に、寄与できないかと高い関心を持っていたところである。

本日の例会は、高萩炭鉱の跡地に新事業を立ち上げ、地道に地域社会に貢献される、「株式会社愛テックファーム」の代表取締役社長 中野光雄様をお招きし、卓話をいただいた。以下はその概略である。

#### 株式会社「愛テックファーム」の立ち上げ

会社は、広大な高萩炭鉱跡地の奥の方、和野入口から、日立いわき線の坂を登ってゆき、かつての炭鉱住宅や、広場のあったあたりに、

鉄骨強化型屋根の農業ハウスを建設し、農・畜産物の生産、加工販売の業務を立ち上げた。

創業の経過をたどると

2017年 会社設立

2018 補助金申請 農場建設

2019 野菜の初播種 初出荷

このように新しい会社である。当社は、株式会社アイテックが本場で、専門的会社で、産業火薬事業を行っていた。ダイナマイトの販売である。

炭鉱の盛んな茨城県北は火薬の需要も多かったが閉山し、その上、公共投資の激減で、全国火薬総需要が減少し、会社は、多角経営に乗り出した。そういう社内の事情もあったという。

#### なぜ農業なのか

産業火薬の企業が、なぜ農業なのか、野菜事業の創業なのか。まったく業態が異なる多角経営の転換に大変驚くと同時に、企業の分析の確かさに驚嘆させられた次第である。

状況分析を進めるといくつかの要因が顕著である第1に、日本農業の現況と将来像を展望すると、農業人口の減少と高齢化が進行している。その上、産業構造の変化が進み、異業種の農業進出が顕著になってきている。

第2に、水耕栽培農業が成長していること。天候に左右されず、安定的な生産が可能であること、その上、消費者の衛生、安全に対する、意識、反応が高まっていること。

第3に、強い農業づくり交付金という、農林水産省の補助事業体制が、強化整備されている。

月 日	プログラム	担 当	10月27日 出席報告		
			会員数	出席者	欠席者
11月3日	海岸美化プロジェクト	社会奉仕委員会			
11月10日	ロータリー財団卓話	ロータリー財団委員会	31	17	12
11月17日	公共イメージ向上フォーラム	公共イメージ向上委員会	出席率： 100 %		
11月24日	卓話 国際奉仕	国際奉仕委員会	前々週訂正： 100 %		

事務所：〒318-0033 高萩市本町 2-65  
常陽銀行高萩支店内 TEL/FAX：0293-24-0505

■URL：https://www.takahagirc.jp

■E-Mail：takahagi-rotaryclub@h7.dion.ne.jp

会 長：鈴木直登  
幹 事：福田文乃

例 会：毎週水曜日 12:30～13:30

公共イメージ委員：小森勇一 大河原浩 大高司郎  
棚谷稔 田所和雄 石平光 今川隆 大平敏明 滝徳宗

四つのテスト

言行はこれに  
照らしてから

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第4に、川崎重工のように、水耕栽培事業ノウハウ会社があって、指導体制が整っていることがあげられる。



愛テックファームの農場・ハウス

### 生産の仕組み

上の写真で分かるように、ハウスで栽培しているのは、数種類のレタス、リーフレタスである。

茨城の太陽と水の恵みがたっぷり詰まった新鮮なレタス。土に代わり、高萩のきれいな水で衛生的に育てた太陽光型の水耕栽培レタスである。

この太陽光型水耕栽培は、電力使用による経費の節減を徹底し、なお、ハウス内の気温、湿度、水温、CO<sub>2</sub>濃度などの栽培条件をコンピューターで管理し、生産性を高めている。

栽培はパレット（孔）植え替え方式で、播種移植、定植と進み、収穫まで約60日。毎日収穫し、生産日量は、約5000株に達している。毎日生産、毎日出荷として、高萩商事のトラック便で届けている。

### 販売している商品



上の写真は「レタスバスケット」「自然の贈り物」と名付けられた商品名の製品で、グリーンリーフ、レッドリーフ、フリルレタスを混ぜ合わせた、サラダのベースに適した販売商品である。

主に関東圏に出荷しているが、カスミ、マルト

エコス、かわねや等の県内のスーパー・量販店 県外では、マルエツ、とりせん ベニマル、ベイヤシア店など、販売先のお客様である。

商品は野菜であり、生鮮食料品であるので、鮮度保持に着目した機能性フィルムでパックしており、10度C以下のチルド配送にしている。

2020年度は、約170万株を出荷したとのことである。

### 地域社会の発展に資する

創業後間もないにもかかわらず、順調に経営を发展させている様子を社長さんから伺った次第であるが、第2農場の計画があり、この秋、着工の予定であるとのこと。

野菜作りといっても、工業製品の生産と変わるところがない感じで、大変驚いた次第である。第2農場の計画も、環境制御メーカーと連携して進められるとのことである。

現在、従業員は30名、さらにパートさんを募集している。

高萩市は、使用されていない空き地が多く、経済的な生産性を高められないで長く模索しているが、御社のような積極的な取り組みが進められている姿に、勇気をいただいた次第である。



本日の例会プログラムは、地域社会の経済発展を考えるものだが、中野社長さんには、アイテック社から派遣されて当市に、こられま

まして、その上、こうして、地域おこしに貢献されておられることに対し、私たちも大変な感動と示唆をいただいた次第である。

鈴木直登会長から、感謝と御礼を申し上げます。

### 【お客様】

(株)愛テックファーム 中野 光雄 様

### 【メイクアップ】

10/16 地球環境保全グローバル

プロジェクト報告会 大高司郎

### 【ニコニコBOX】

橋本義隆さん：ご無沙汰しておりました。本日、愛テックファームの中野社長の卓話、楽しみにしております。

鈴木啓志さん：日展入場券、欲しい方申し出ただければ差し上げます。11月21日迄開催中。

大高司郎さん：本日のゲスト中野光雄様、ようこそ高萩 RCにお越し下さいました。卓話よろしくお願い致します。

鈴木直登さん：愛テックファーム中野社長さん。本日はありがとうございます。土地の利用と農業を結ぶ新しい型。よろしくお願い致します。

田所和雄さん：(株)愛テックファーム、中野光雄様、ようこそおいで下さいました。本日の卓話、どうぞよろしくお願い致します。

佐藤利雄さん：愛テックファームの中野社長の苦労様のお話を聞く。

小森勇一さん：第1回目の英語発表よくできました。ごくろうさまです。中野様、卓話ありがとうございます。

棚谷稔さん：滝先生今日は痛くないようよろしくお願い致します。

石君平さん：愛テックファームの中野様、卓話楽しみにしています。

小谷松政紀さん、江尻寛さん、大河原浩さん、今川隆さん、菱川健司さん、平野浩司さん、大平敏明さん、滝徳宗さん

本日計 16,000円  
累計 189,000円

【ロータリー財団】

本日計 0円  
累計 251,160円

【ポリオプラス】

本日計 0円  
累計 38,170円

【米山記念奨学会】

本日計 0円  
累計 198,000円